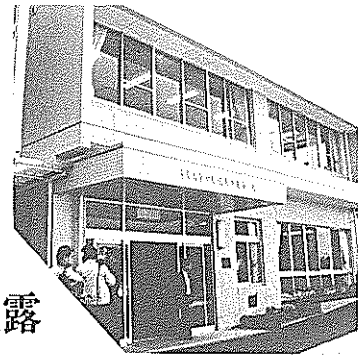




地域福祉の 向上を目指して 地域交流ホーム落成披露

在宅心身障害児の通園施設「土佐希望の家地域交流ホーム」の落成披露が五月八日、同ホームのブレイクームで、来賓や父兄など、関係者約七十人が出席して開かれました。

この地域交流ホームは、在宅心身障害児と地域福祉の向上を目指す県下初の通園施設です。「やまびこ教室」(斎藤秀雄室長)と名付けられ、四月二十日に開園。昼

間だけ施設で訓練、保育し、家族の負担を軽くするとともに、子供たちの運動能力も伸ばそうというものです。

ホームは、六十一年十月二十五日に着工、今年三月十四日に竣工しました。建設費四千七百万円、鉄筋コンクリート造り二階建て、延床面積二百七十二・六七平方メートル、訓練室やブレイクームがあり、トランポリンや積み木などの遊具を使って訓練するようになっています。

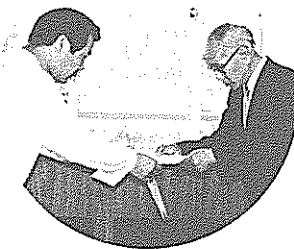
「やまびこ教室」では、指導員と保母各二人、希望の家の医師、七月からは理学療法士も加わって、希望の家の在籍が訪問していたなかから通園可能な子供を週二日療育。空いた時間は他の重度障害児にも開放しています。

記念式典では、希望の家の山崎理事長のあいさつの後、工事報告



地域交流ホーム落成式典が行われた

BBS キャラバン隊 メッセージを伝達



浜田助役にメッセージが手渡された

が行われ、中村副知事や小笠原市長らが「開かれた施設を作っていく大きな第一歩になる。一人でも多くの子供たちが希望を持てるように」と祝辞を述べました。

ホームでは、心身障害児者の相談や心身障害児の通園事業のほか、ボランティアの育成や地域福祉に関わる調査研究事業なども行うことにしています。利用を希望する方は電話、または直接ホームへ。

まほろば農園で田植え ○国府小学校○

ほろば農園(七百平方メートル)で田植えをしました。

これは、ゆとりの時間を使って勤労生産学習をすることにより、自然を相手に喜びと感動を味わい、作物を作るとはどういうことかを学んでもらおうと市米消費拡大推進連絡協議会が実施したものです。体操服姿の子供たちは三組に分かれ、ヒデコモチの苗を大騒ぎしながら植えました。この日に植えた苗は子供たちが管理、八月中旬に取り入れをして、体育館の落成に使う予定です。

そのほか、同農園の畑では、じやがいもやトウモロコシも育てることにしています。



泥だらけになって田植えする子供たち